

子どもが学校に行き渋り始めたら・・・ ～本校の取組について～

帯広市立森の里小学校 令和8（2026）年4月

本資料は、「不登校児童生徒への支援の在り方について（通知）」（以下、通知という。）の趣旨を踏まえ、学校への行き渋りや不登校への支援の取組を保護者の皆様に理解していただくことを目的に作成しました。

1 不登校の定義について

なにかしらの心理的・情緒的・身体的・あるいは社会的要因・背景により、児童生徒が登校しない、あるいはしたくてもできない状況にあり、年間30日以上欠席した者
(病気や経済的な理由によるものを除く)

2 不登校支援の視点

(1) 自らの進路を主体的に捉える。	【積極的な意味】休養・自分を見つめ直す
(2) 社会的に自立することを目指す。	【消極的な意味】学業の遅れ・進路選択上の不利益 社会的自立への困難

3 登校渋りや不登校支援の取組について

	児童の様子	支援の取組
初期 対応	<input type="checkbox"/> 保護者からの登校渋りの連絡 <input type="checkbox"/> 遅刻、欠席が増える <input type="checkbox"/> 保健室等にいる時間が増える <input type="checkbox"/> 表情が暗い <input type="checkbox"/> アンケートの様子	<input type="checkbox"/> 活躍の場の調整 <input type="checkbox"/> 肯定的な声掛け（ほめる・認める） <input type="checkbox"/> 保護者への学校生活の様子や取組の連絡・情報共有
	<input type="checkbox"/> 連続3日の欠席	<input type="checkbox"/> 電話連絡（学級担任） ・本人、保護者からの様子の聞き取り ・日課や活動に見通しを示す。 ・安心できる環境づくりを示す。
中・ 長期 対応	<input type="checkbox"/> 連続5日の欠席	<input type="checkbox"/> 家庭訪問（学級担任・生徒指導部など） ・本人、保護者からの様子の聞き取り ・日課や活動に見通しを示す。 ・安心できる環境づくりを示す。 <input type="checkbox"/> 保護者との個別面談（学級担任・生徒指導部など） ・今後の方針 ・相談窓口の紹介
	<input type="checkbox"/> 1か月の継続した欠席（断続的な出席） <input type="checkbox"/> 本人状態像をチェック <input type="checkbox"/> 担任の家庭訪問に会える <input type="checkbox"/> 生活のリズムの保持 <input type="checkbox"/> 断続的な登校 <input type="checkbox"/> 別室登校 <input type="checkbox"/> メンタルヘルスの悪化 <input type="checkbox"/> 眠れない <input type="checkbox"/> 食べられない <input type="checkbox"/> 興味あったものへの意欲を失う <input type="checkbox"/> 身体症状 <input type="checkbox"/> 著しい不安または怒り	<input type="checkbox"/> スクールカウンセラーなどとの相談、面談の実施（児童） <input type="checkbox"/> スクールソーシャルワーカーなどとの相談、面談の実施（保護者） <input type="checkbox"/> 本児との個別面談・対面指導 <input type="checkbox"/> 保護者との個別面談（学級担任・生徒指導部など） ・今後の方針 ・相談窓口の紹介 ・適応指導教室「ひろびろ」の紹介 ・オンライン仮想教室「ひろびろチョイス」

不明点やご相談は、遠慮なく相談してください。

学級担任のほか、相談がしやすい教職員に遠慮せずご相談ください。

連絡先 0155-36-5437（学校代表電話）